# 質　　疑

発言者　　岡　田　まなみ

| 発　言　の　要　旨（その１） |
| --- |
| 議案第76号　令和７年度高松市一般会計補正予算（第１号）について |
| (1) 保育所施設整備費、債務負担行為３億2,300万円 |
| ①　幼保連携型認定こども園は、どのような理念の下で教育・保育を行う施設なのか。 |
| ②　なぜリースなのか。リース料を増額する理由は何か。 |
| ③　児童を心身ともに健やかに育成する責任を負う自治体として、園の増築に当たり、プロポーザルによる公募を行う理由は何か。 |
| (2) 不登校対策事業費965万4,000円 |
| ①　不登校児童生徒の増加、とりわけ低学年で増加の要因を、どのように考えているのか。 |
| ②　教育支援センターを拡充することで、何を目指しているのか。 |
| ③　指導員は、どのような資格を持った人が、どのような指導に当たるのか。 |
| ④　学校に設置している校内サポートルームと教育支援センターは、どのように違うのか。 |
| ⑤　人数に限りがある中、教育支援センターに入れる子供は、どのように選ぶのか。 |
| ⑥　不登校への支援の基本を、子供の心の傷の理解と休息・回復の保障に置く考え |
| ⑦　不登校児童生徒を抱える保護者への支援・相談窓口は、どのようになっているのか。 |
| ⑧　一人一人の子供に寄り添うために、教員を抜本的に増やし、さらなる少人数学級を推進する考え |
| (3) 自主防災組織等育成事業費200万円 |
| ①　包括自主防災組織の活動に必要な資機材等の充足状況を、どのように把握しているのか。 |
| ②　包括自主防災組織の活動に必要な資機材等は、市が責任を持って行い、そのために予算を抜本的に拡充する考え |
| (4) 隣保館整備費、児童館整備費１億4,041万円、債務負担行為２億2,502万4,000円 |
| ①　同和対策事業は終了したとの認識はあるのか。 |

| 発　言　の　要　旨（その２） |
| --- |
| ②　上天神文化センターの利用状況、今後の課題を、どのように考えているのか。 |
| ③　行政の主体性を発揮して、周辺地域に、より開かれた誰もが利用しやすい施設とする考え |